

# 2023年度上期業績概況

世界経済の減速により、国内外の鋼材需要は伸び悩んでおり、円安効果による増収はあったものの、単体純利益は2億円の減益、SCGMグループ管理純利益も40億円の減益となった。

	2022年度 上期	2023年度 上期	前年同期比
単体純利益 (日本会計基準)	70億円	68億円	△2億円
SCGMグループ 管理純利益※ (非監査、国際会計基準)	155億円	<b>115億円</b>	△40億円

※ 「SCGMグループ管理純利益」には、①当社及び②当社の関係会社に加えて、③当社の親会社である住友商事株式会社（以下、SC）の金属事業部門鋼材本部（以下、SC鋼材本部）傘下で当社が直接資本関係を有さないSCの関係会社（以下、SC鋼材本部傘下の関係会社）、及び④SC鋼材本部及びSCの海外地域組織の鋼材事業に関連する利益を含めております。  
「SCGMグループ管理純利益」に③及び④に関連する利益を含めているのは、当社はSC鋼材本部傘下の関係会社（③）の運営並びにSC鋼材本部及びSCの海外地域組織の鋼材事業（④）に関連する取引遂行に対しても、SCとの業務受託関係や共同での戦略立案・推進等を通じて現に関与・支援していることを理由とするものです。

## Topics

### 単体純利益

・国内外の鋼材需要の伸び悩みもあり、前年同期比△2億円の減益となった。

### SCGMグループ 管理純利益

・海外スチールサービスセンター事業で、北米を中心に前年同期の価格高騰の反動があり、△40億円の減益となった。